

3月定例会

陸別町議会3月定例会は、3月7日から14日まで、4日間開かれました。今定例会では、令和4年度補正予算案7件、条例案10件、令和5年度当初予算案7件を可決し閉会しました。

子育て環境の充実と、経済的負担軽減に向けて ～ 出産・子育て応援給付金を支給 ～

妊娠・出産期から、子育て家庭に寄り添う

〔伴走型相談支援の充実を図る〕

○ 出産・子育て応援

給付金支給事業

120万円

核家族化が進み、地域のつながりも希薄になる中、孤独感や不安感を抱える妊婦・子育て世帯も少なくない。全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てが出来るための環境整備が喫緊の課題となっている。

こうした中、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援を充実し、経済的支援を一体として実施するための、出産・子育て応援給付金支援事業に、新年度予算で120万円を計上した。

事業の財源は、国2/3、道1/6、町1/6である。

◎ 事業の内容

妊娠届出時より、妊婦や

特に0歳から2歳の低年齢期の子育て家庭に寄り添い、出産・育児等の見通しを立てるための面談を行うことを通じて、必要な支援につなぐ伴走型支援の充実を図る。

※相談支援の内容

- ① 妊娠届出時の面談
- ② 妊娠8ヶ月頃の面談
- ③ 出生後の面談

経済的支援として、**出産応援給付金5万円、子育て応援給付金5万円**を支給

出産応援給付金は、妊娠届出時の面談を受けた妊婦に対して、妊婦一人あたり5万円を支給する。子育て応援給付金は、保



▲ 保健センター前庭でシャボン玉遊び

健師による面談を受けた児童を養育する者に対して、児童一人につき5万円を支給する。

なお、出産・子育て応援給付金支給事業に係る詳細については、保健センター（☎27-8001）へお問い合わせ下さい。

令和5年度 予算総額 62億6,490万円

— 対前年度比 0.7%減の計上 —

骨格予算

当初予算質疑から

ゼロカーボンシティ

宣言

○デジタル田園都市国家
構想交付金（歳入）

25万円

Q 当町が目指すゼロカーボンシティ宣言につながる事業としては、中山間の活性化に取り組む事業、脱炭素先行地域が取り組む事業、遠隔診療及び防災力の向上に資する事業などがあげられる。こうした事業に推進するための計画策定を急ぐ必要があるのではないか。

A 十勝管内でもデジタル田園都市国家構想の様々な事業が進んでいるので、それらの優良事例などを参考に、当町に合ったものを検討していきたい。



農村部の空き家解体にも補助金を

○景観形成事業補助金

500万円

Q 景観形成事業は、平成10年から実施され、すでに220件を超える利用があった。この補助金を利用できる区域は、公共下水道供用地区内（市街地）に限られている。今年度も市街地に限定して行うのか。

A 当初は近隣に与える影響が多い市街地を想定していたが、自治会長会議において、市街地以外への要望や意見等もあるので、今後検討していきたい。

○社会教育講座講師謝礼金

125万円

Q コロナ禍の3年間は、社会教育講座を行うにも苦労したと思うが、今年度は、どのような講座を予定しているのか。

A 現時点では、絵本の読み聞かせ、自然講座、ピップホップダンス、パン

コン、スマホ講座、ヨガ教室、英会話教室など10の講座と教室を予定している。具体的な内容はこれから検討していきたい。

次期介護保険料への影響は

影響は

○介護給付費準備基金

繰入金 13万円

Q 今年度の基金の取り崩しが前年度よりも極端に少ないことから、次期介護保険事業計画における第1号被保険者の保険料の額を据え置くことも考えられるのではないか。

A 介護保険事業計画の策定に関しては、サービス提供内容等を検証しつつ、今後3年間の給付見込みや、町民アンケート等の住民ニーズも踏まえることも、基金の積立残高も含めて保険料を算定することになる。そのため、現時点においては、次期介護保険料の額を判断することは出来ない。

令和5年度 各会計当初予算額

会 計 名		補 正 額	前年度比
一	般 会 計	49億 3,420万円	102.5%
特 別 会 計	国 保 事 業 勘 定	3億 5,673万円	80.3%
	国 保 直 診 勘 定	3億 3,275万円	95.4%
	簡 易 水 道 事 業	1億 7,679万円	86.0%
	公 共 下 水 道 事 業	1億 3,051万円	94.0%
	介 護 保 険 事 業 勘 定	2億 8,327万円	91.3%
	後 期 高 齢 者 医 療	5,065万円	106.3%

新年度予算の主な事業

○ 介護サービス利用者負担軽減事業 263万円（新規）

社会福祉法人等の介護福祉施設サービスや短期入所生活介護及び介護予防サービス等を利用する方で、市町村民税世帯非課税、単身世帯で年収150万円以下など、市町村が生計困難と認めた方が対象です。

軽減は、1割負担と食費、住居費等の1/4が原則で、利用者の状況に応じて決定する

※詳細については、介護保険担当に確認ください。



◀
楽しそうにほほ笑む
しらかば苑の入所者

○ 陸別町国民健康保険関寛齋診療所 医療用機器整備事業 1,140万円（新規）

〔X線一般撮影装置1台、自動尿分析装置1台、心電計1台〕

○ タウンホール維持管理事業 1,595万円（継続）

〔音響機器設備更新等〕

○ 庁舎改修事業 1億4,706万円（継続）

〔衛生器具、給排水設備等更新工事ほか〕

○ 地域内交通対策事業 1,668万円（継続）

〔陸別町内に限り（全域）、ハイヤーの利用が1回につき200円で乗車できる〕

○ 介護職員等資格取得事業 167万円（継続）

〔①介護職員初任者研修 ②対象となる資格を取得または研修を修了した町民に対し補助金を交付 補助率は経費の3分の1、上限は10万円（町内の介護事業所に勤務する等の条件があります）〕

○ 出産祝い金事業 400万円（継続）

〔第1子20万円～第4子以降100万円まで、交付要件に該当する方に祝い金を贈呈〕

○ 修学旅行費に対する助成 小学校21万円／中学校54万円（継続）

〔小学校は1人あたり1万円 中学校は1人あたり3万円を助成〕

○ 給食費無料化 保育所184万円／小学校438万円／中学校317万円（継続）

〔保育所は食材費を公費負担 小・中学校は給食費を全額補助〕

一般質問

3月定例会では5人の議員が一般質問を行い、町政を問いました。その内容を要約して掲載します。

酪農業と林業の現状をどう捉える

渡辺 三義 議員

問 現在の酪農業は、乳量減産による生産抑制や、飼料価格の高騰によって、経営は八方塞がりの状態にある。また、林業も所有者の高齢化、担い手不足等、多くの課題が山積されているが、政府は森林環境譲与税を各自治体に分配している。現在の酪農業への認識と、森林環境譲与税の活用及び効果をどう見ているのか。

町長 現在の酪農・畜産業を取り巻く環境は、依然として厳しいものがあり、緊急支援事業等を通じて出来る限りの対策は行ってきた。様々な問題はあるが、これからも農業振興のために、知恵を絞りながら一歩ずつ進めていく必要がある。森林環境譲与税の活用については、町内の林業事業

体の皆さんからの意見を聞きながら、各種補助金を支出してきた。この貴重な財源を今後也十分配慮しながら、活用していかなければならないと考えている。

発熱外来の診療の対応は

現在の新型コロナウイルス

問 イルス感染に伴う発熱外来は、国の基準に基づき65歳以上の方を対象に実施しているが、65歳未満の一部の町民から、発熱しても診療所の発熱外来では診療してもらえず、近隣の病院で診察してもらったと聞いている。

医療行為に診療基準があることは理解するが、なぜ他所でできて当町でできないのか。

町長 昨年の11月後半から町内での感染拡大の兆候が見られたことから、11月28日から、国や北海道の方針に基づき、65歳以上の方、妊婦、重症化リスクの高い患者に限り、発熱外来の受診対象者にさせて頂いた。そのため、64歳以下の方は、原則抗原検査キットによる検査をお願いし、陽性となった場合は、北海道陽性者登録センターに連絡するよう協力を求めた。この間、町民の方には大変ご不便をおかけしたが、引き続き協力をお願いしたい。

コロナ禍における学校教育の評価は

小・中学校の児童、生徒に対する

問 コロナ禍の影響は、学習面、学校生活、生活習慣とあらゆるところに影響を及ぼしてきた。そのため、教育方針、教育目標等の進捗状況にも大きな影響が出ているものと思われることから、コロナ禍

における学校教育全般について、どのような評価をしているのか。

答 各種行事での入場制限や部活動での大会中止等により、今まで頑張ってきた成果を発揮出来ずに悔しい思いをした生徒達もいた。また、緊急事態宣言による臨時休業によって、学習の進捗に支障を来しかねない時期もあったが、地域の方の理解と協力のおかげで、学校教育活動を展開していくことが出来た。また、制限や制約があったにも関わらず、多くの関係者が努力を惜しまず、創意工夫をしながら、子供たちに学びの足跡を残せたことに感謝している。



ここが聞きたい



防災の備え

久保 広幸 議員

問 防災の備えは、浸水害と土砂災害のみならず、感染症の感染拡大や他国からの飛翔体の飛来も大きな脅威になっている。特に、厳寒期の大規模停電は重大な危険性を孕むことになる。

当町の強化計画には、リスクシナリオに対応して補強すべき施策として「積雪寒冷を想定した避難体制等整備」に言及している。今年度は3年ごとに行われている総合防災訓練が予定されるが、それをどの様に具現化するのか。

町長 今年度は3年に一度の総合防災訓練を予定しており、開催時期を含めて関係機関と内容の調整を進めている。前回までの課題を踏まえ、効果的な訓練を実施する必要がある。

避難体制の整備として、

持ち運び可能な暖房機、また、燃料、毛布、断熱マット等を備蓄している。

問 不測の事態が発生しても、重要な事業等も中断させない、または中断しても可能な限り短い期間で復旧させるための計画、BCP（事業継続計画）について、役場庁舎や消防庁舎が被災した場合、どの様に対応するのか。

町長 町の行政事務については、BCPについては、コロナ禍の拡大等に対応するものは有るが、災害時のものは未策定である。

今年度は地域防災計画を改定し、来年度中には災害時の庁舎業務におけるBCPを策定し、重要な行政サービスの維持、継続を図る必要があると考えている。

情報通信技術の活用による豊かな暮らしを

情報通信技術、今やICTという表現が一般化しているが、その急速な進展に伴い日々の生活スタイルにも大きな変化が見られている。一方で、その流れに取り残されている、いわゆる情報弱者の存在も顕わになっている。

問 その様な方々に必要となる支援の一つとして、買い物にICTの機能を加えることによって、それが大きな支援に繋がって行くのではないか。

町長 買い物支援におけるタブレット端末の利用やその配達の業務は、既に通信販売及び運輸サービスにおいて実現しているビジネスモデルと承知している。これを町内の事業者が取り入れるかどうかは、それぞれの判断するところと思っている。先般、商工会が飲食店を紹介するスマートフォ

ン向けアプリを開発したと聞いている。それを更に発展させて、注文と配達という買い物支援に繋がって行くことを期待したい。

問 厚生労働省は、かかりつけ医による診療においてリモート技術の活用を認めている。対面での診療を軽視するものではないが、通院に身体的負担の大きい方も居られる。オンラインに拠る診療システムの導入を推進するべきと考えるが。

町長 情報通信技術の進展に伴い、ICT化した診療の普及が一層進むものと推察している。患者によっては通院などの負担軽減となる有用な手段と認識している。オンライン診療システムの安全性や費用対効果など、また、診療における双方向通信に関する課題などを慎重に見極めたい。



陸別町の持続的な発展と

地域振興のあり方を問う

三輪隼平 議員

問 当町は、しばれフェスティバル、銀河の森天文台、オフロード、陸別鉄道等を通じて関係人口を増加させる取り組みを行った後に、企業誘致に結びつく可能性はあるのか。



▲ 3年ぶりに開催されたしばれフェスティバル

町長 町の魅力である豊かな自然環境、災害が少ない地域であることや、観光面の努力によって交流人

口も増えているので、企業誘致に繋がっていくことに期待したい。しかし、首都圏からのアクセス、地元労働力の不足等、それらを補うべく、企業立地促進条例による補助や、地元雇用促進事業による労働力の確保等、限られた財源の中ではあるが、産業振興に取り組みたい。

近年はリモートワークの普及等、働き方も多様化しているので、公共施設のインターネット環境の整備を進めるとともに、ワーケーションの候補地として、銀河の森コテージ村の宣伝にも力を入れていく必要があると考えている。

問 木製品製作及び牛乳の商品化といった、6次産業化等、町の産業の更

なる発展に寄与すると思われる業種をピックアップして、重点的な起業支援に対して補助金を出す考えはないか。

町長 時代のニーズに合わせて改変しながら、地域振興に関わる事業を支援してきた。町づくり補助金は、新規起業を目指す法人、個人、ともに非常に活用しやすいと思っている。また、まちづくり推進会議において、より時世にあった支援となるように、定期的に補助の対象等を協議している。提案のあった事項については、より効果的な事業となるための検討が必要であると思っている。

問 当町の持続的な発展を考えた時、未来にどのような投資をしていくかが重要であると思つ。特に、バイオガスパラントの新規事業の展望をどのように見ているのか。この事業において、収入が増加する可能性はあるのか。

町長 現在は原料の投入量と発電の関係性等、データを蓄積している段階であり、次の段階のことを具体的に回答するのは困難である。しかし、他町の例等を参考にしながら、少しでも収入が上がるように努力したい。

問 基幹産業である農林業の担い手不足解消への取り組みと、コロナ禍において、移住、婚活イベント等にSNSを活用した取り組みを行う考えはないか。

町長 基幹産業における担い手不足は、産業を維持していく観点から極めて重要であり、首都圏等で開催される各種フェアに町も参加している。また、移住フェア、婚活イベントもコロナ禍をきっかけに見直され、リモート等による開催となったことから、情報発信手段の更なる活用を模索していく必要があると考えている。

先住民族アイヌの学びと

関寛斎との関与を問う

谷 郁司 議員

問 先住民族アイヌ(ウタリ)の過去からの歴史を見ると、ヘイト(反感)に対する人種差別や抑圧として、明治政府は、先住権(土地所有、漁業権、狩猟権)を奪い、強制移住を行ってきた。ウタリの人達は、生きていく全ての動植物をカムイ(神)と呼び、暮らし、歴史、仕事、食、伝統文化(歌、踊り、刺繍、文様)等、文字を持たずに言語で伝授してきた。そうした歴史を持つ、ウタリの人に対する見識を伺いたい。

答 2008(H20)年に国会において、アイヌ民族を先住民族とする決議が、衆参両院で可決していることもあり、アイヌは先住民族であると押さえている。

今まで当町において、アイヌ文化等にかかわる活動等は見当たらないが、小学校6年生で1時間程度、中学校の社会の地理的分野の中で、アイヌ民族について学んでいる。また、今年度は、中学3年生の修学旅行において、白老町のウポポイを訪問し、アイヌ民族についての学習を実施した。

イヌ文化等にかかわる活動等は見当たらないが、小学校6年生で1時間程度、中学校の社会の地理的分野の中で、アイヌ民族について学んでいる。また、今年度は、中学3年生の修学旅行において、白老町のウポポイを訪問し、アイヌ民族についての学習を実施した。

問 陸別町史の「通史編」や「史料編」にウタリの「コタン(集落)」のことがあまり明記されていないことについて、どのように捉えているのか。

答 国指定の史跡ユウエンプラチャシ(砦)跡の発掘調査において、コタンや墓等は確認されていない。しかし、史跡クラスのチャシ等があることから、コタンがあったのは間違いない

国指定の史跡ユウエンプラチャシ(砦)跡の発掘調査において、コタンや墓等は確認されていない。しかし、史跡クラスのチャシ等があることから、コタンがあったのは間違いない

のではないかと考えられる。また、陸別町史発行から、既に30年以上が経過していることもあり、新たな事実が出てきていることは認識している。今後は、調査研究を継続しながら、どこかの時点において、新たな記述も必要になってくると思っている。

問 関寛斎は牧場を開拓の際、ウタリの方々の協力を得て、巨木を掘り起こしながら、開拓の基礎を築き、怪我人が出た時は、率先して無償で診療を行ってきた事実がある。

このことは、徳富蘆花の「みみずのたはこと」の中にも書かれており、関寛斎とウタリとの結びつきは、ヒューマンリズム(人道主義)の精神として、町史の中で

関寛斎は牧場を開拓の際、ウタリの方々の協力を得て、巨木を掘り起こしながら、開拓の基礎を築き、怪我人が出た時は、率先して無償で診療を行ってきた事実がある。

クローズアップ(大勢の方に関心を持たれる)されるべきではないか。

答 陸別の開拓の祖である関寛斎を掘り下げて行けば行くほど、すごい人物であったものと思われる。また、関寛斎と先住民族アイヌとの関わりについて、陸別町の本来の歴史を記録として後世に残していくことは必要であるため、関係団体との研究を継続し、今後の課題として取り組んで行きたい。

関寛斎は牧場を開拓の際、ウタリの方々の協力を得て、巨木を掘り起こしながら、開拓の基礎を築き、怪我人が出た時は、率先して無償で診療を行ってきた事実がある。

問 当町に一昨年移住された方は、ウタリの未裔の人であり、アイヌ文化や伝統を伝える活動を現在も行っている。当町においても講演やセミナー等を依頼していく考えはないか。

答 町内での学習プログラムを構築し、児童生徒を含め、少しずつ一般市民にも触れてもらえるための取り組みについて、今後検討していきたいと思っている。

当町に一昨年移住された方は、ウタリの未裔の人であり、アイヌ文化や伝統を伝える活動を現在も行っている。当町においても講演やセミナー等を依頼していく考えはないか。



▶ 駅前多目的広場の関寛斎像

鹿柵の修繕計画を

中村 佳代子 議員

問 平成12年から整備された鹿柵は、総延長209kmではほぼ町内全域を囲っている。しかし、施工から20年以上が経ち、木材の腐敗や倒木などによる破損が多く、エゾシカが頻繁に行き来できるような状態が見受けられる。そのため、農作物のエゾシカ被害は、令和3年度で約2千600万円と年々増え、農業者にとつ



▶柵を飛び越える鹿
(イメージ画像)

ては死活問題となっている。

現在、鹿柵の管理は、中山間地域直接支払事業陸別集落が行い、毎年少しずつ修繕は行っているが、1kmを修繕するのに約180万円掛かるため、中々進んでいない。今後は、輸入粗飼料価格の高騰に伴い、自家でデントコーン等の作付け面積を増やす酪農家が増えてくるものと思われる。そのため、作物を守るためにも、鹿柵の修繕計画を立て、JA陸別、中山間の陸別集落に対する支援を行っていく考えはないか。

町長 毎年の修繕が追い付いていないことは把握している。修繕には多額の費用が掛かるため、国や道からの助成が受けられることを念頭に、早い段階での大規模修繕に着手できるように協議を続けている。

関寛齋資料館

PR拡大を

問 関寛齋資料館を示す看板、パンフレット等

が設置がなされていない。関寛齋の功績は、和平、人道支援、パンデミック等、今の時代の問題にもリンクしている。私は近い将来、きつと映画やドラマになるだろうと信じている。この貴重な資料を展示するだけではなく、より深く興味を持つてもらえるように、オーディオガイドの導入を検討してみてもどうか。

また、偉業と理想を求め、ストイックに生きた関寛齋を広く日本中にPRしていくためにも、資料館の利用者拡大を図る対策をどのように考えているのか。

町長 看板の設置は、他の施設も隣接していることから、色々と支障が出てくることもあり、現状では難しいものと思っている。パンフレットの作製等については、まだまだ出来るこ

とは多くあると思われるので、新たな視点でPRの拡大に向けて取り組んでいきたい。

登校が難しい 児童生徒の 居場所づくりを

問 登校が難しい児童生徒が増えていると聞いている。スクールカウンセラーの設置以外にも、自治体でフリースクールを準備する考えはないか。

町長 居場所づくりについては、今後の最重要課題だと認識している。そのための環境づくりや、人材確保等も含めて、なるべく早い段階で対応が取れるように、現在取り組んでいる最中である。



制度改正で
利用に影響か

地元雇用促進事業

当初予算 1千40万円

今回補正額 △533万円

町内における雇用や定住化を促進し、地域経済の活性化を図るため、新規職員を雇用する事業主に対して、給料の一部を助成してきている。しかし、今年度からは、対象経費の期間、助成額、対象人数等の制度改正を行ったことが、今回の減額となったのか。

また、制度改正から1年しか経過していないが、見直す考えはあるのか。

A 制度改正により、年度内1事業所あたり2名を上限とし、助成額は月額3万円を限度としたことなどにより減額となった。

また、採用したが途中で退職したり、採用時期が5月、6月などで遅れたことも理由のひとつと判断している。

令和4年度に制度改正を

しているので、当分の間はこのままの条件を進めていきたいと考えている。

林業機械導入で
労働環境改善へ

林業担い手対策推進事業

当初予算 1千832万円

今回補正額 △754万円

事業の一部には、林業作業員の労働環境の改善及び技能技術の向上を促進するため、高性能林業機械等の購入やリースに要する経費に対して助成を行っている。こうした高性能林業機械等を導入するにあたり、リース機械や中古機械なども助成の対象となるのか。

また、今回754万円を減額した理由について伺う。

A 高性能林業機械等の導入



▲ 械機導入により安全で作業効率も上がる (イメージ画像)

減額した理由は、当初3件分の高性能林業機械の導入を見込んでいたが、機械の納期が大幅に遅れるという理由から、一件申請を取りやめた。また、新規雇用者向けの安全スボンやジャケットなど、安全装備品の購入が減ったことも主要な要因である。

令和4年度 各会計補正予算

会 計 名		補 正 額	総 額
一	般 会 計	1億 6,102万円	55億 3,542万円
特 別 会 計	国 保 事 業 勘 定	△ 9,920万円	3億 4,507万円
	国 保 直 診 勘 定	△ 641万円	3億 4,366万円
	簡 易 水 道 事 業	△ 314万円	2億 297万円
	公 共 下 水 道 事 業	△ 532万円	1億 2,763万円
	介 護 保 険 事 業 勘 定	△ 2,358万円	3億 207万円
	後 期 高 齢 者 医 療	△ 16万円	4,749万円

条例・その他の審議結果

件名	審議結果
● 陸別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	可決
● 職員の降給に関する条例の一部を改正する条例	可決
● 職員の分限についての手続き及び効果に関する条例の一部を改正する条例	可決
● 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町文化財保護条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例等の一部を改正する条例	可決
● 陸別町国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町公共草地条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町防災会議条例の一部を改正する条例	可決

議会の動き

【2月】
22日 議員協議会

【3月】
3日 議会運営委員会
7日 3月定例会
3日 総務常任委員会
産業常任委員会
議員協議会
8日 3月定例会
9日 3月定例会
14日 3月定例会
議会運営委員会
(広報編集会議)



全国町村議会議長会より 自治功労者表彰を受賞

全国町村議会議長会表彰規程に基づく自治功労者表彰式において、当町議会から議員15年以上として、多胡裕司議員が受賞しました。表彰状は、3月定例会の冒頭、本田議長から伝達されました。

陸別町議会 ホームページのご案内

【陸別町議会ホームページ】
<http://www.rikubetsu.jp/gikai/>

次回の定例会は6月に開催されます。
詳しい日程等は議会事務局にお問い合せ願います。
皆さんの傍聴をお待ちしております。